

ご報告

「越谷レイクタウン」 「リブコムアワード2009」プロジェクト賞金賞を受賞

「越谷レイクタウン」は、2009年10月8日〜12日の5日間、チエコ共和国ブルゼニユ市で開催された「リブコムアワード2009」において「プロジェクト賞」のB3部門で金賞を受賞しました。プロジェクト賞での金賞受賞は日本で初めてです。当機構は昨年の「多摩平の森」の銀賞に引き続きの受賞となります。

UR都市機構は、「越谷レイクタウン」環境共生を先導するまちづくりについてプロジェクト賞に応募し、8月に一次論文審査を通過しました。10月8日から12日まで国連環境計画（UNEP）の支援を受けて開催された最終審査会において、「地域を災害から守ることによる安心安全まちづくり」「CO₂排出量削減を目指す環境に配慮した実践」「水辺の健康的なライフスタイルの提供」に

越谷レイクタウン地区の事業概要

事業名称: 越谷都市計画事業 越谷レイクタウン特定土地区画整理事業
 施行者: 独立行政法人都市再生機構
 所在地: 埼玉県越谷市相模町、大成町、川柳町、東町の各一部
 施行面積: 約225.6ha
 事業年度: 平成11年度～平成25年度(清算期間5年を除く)
 総事業費: 約897億円 計画戸数: 約7,000戸
 計画人口: 約22,400人(人口密度 約100人/ha)



越谷レイクタウン駅



水辺で遊ぶ人々



大相模(おおさがみ)調節池



UR レイクタウン で **検索** してください。

<http://www.ur-net.go.jp/ur-stage/html/area/kit/index.html>



金賞受賞の賞状



表彰式での機構代表団とリブコムアワード審査員

ついて、活動や取り組みをコーディネートしながらまちづくりを進める当機構の役割を、審査の評価項目に沿ってプレゼンしました。

施行者である機構と民間事業者だけでなく、住民や地域の市民団体そして地方自治体と連携してまちづくりに取り組むことで、質の高い生活環境を実現していることに高評価をいただきました。

リブコムアワード (The LivCom Awards) とは

リブコムアワード (The International Awards for Liveable Communities) は、「環境に配慮した住みよいまちづくり国際賞」として、優れた実績をあげた自治体などに与えられる唯一の国際的表彰制度です。国連環境計画の承認を受け、1997年にスタートして今回で13回目の開催となります。Whole City Awards (都市賞)、Environmentally Sustainable Project Awards (プロジェクト賞) および、受賞プロジェクトに1万ポンドが授与されるBursary Awards (助成金賞) の3つの賞で構成されています。

審査の評価項目
 プロジェクト賞の目的は、持続可能性と環境意識を示す革新的なプロジェクトの評価にあり、その評価項目は以下の6つとなっています。

- ① 景観の向上 Enhancement of the Landscape
- ② 文化遺産の管理(活用) Heritage Management
- ③ 環境に配慮した実践 Environmentally Sensitive Practices
- ④ コミュニティの持続可能性 Community Sustainability
- ⑤ 健康的なライフスタイル Healthy Lifestyles
- ⑥ 将来計画の策定・実践 Planning for the Future

情報

第5回都市再生フォーラム
『都市・活かすチカラ』
を開催しました

2009年12月2日(水)、晴海トリトンスクエア第一生命ホールにおいて、第5回都市再生フォーラム『都市・活かすチカラ』を開催しました。黒川和美氏の基調講演「都市の固定概念を打ち破る」視点を変えると都市が変わる」や実務家を交えたパネルディスカッションを通して、都市の自立的・持続的な活性化に向けた取り組みについて議論が展開されました。



パネルディスカッションの様子



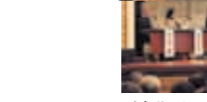
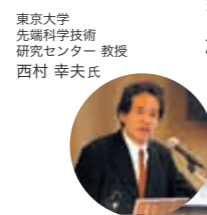
法政大学大学院政策創造研究科教授 黒川和美氏

フォーラムに関する報告を掲載しています。
<http://www.ur-net.go.jp/forum/>

情報

『歴史文化を活かしたまちづくりフォーラム』
を開催しました

2009年11月17日(火)、横浜市開港記念会館において、『歴史文化を活かしたまちづくりフォーラム』を開催しました。西村幸夫氏の基調講演「地域活性化に歴史文化を活かす」や、「地域活性化への多様性を探る」をテーマにしたパネルディスカッションが行われました。



パネルディスカッションの様子

歴史文化を活かした街づくりに関する、西村氏のインタビューを掲載しています。
<http://www.ur-net.go.jp/urbandesign/interview9.html>

ご案内

東雲キャナルコート情報サイト
「シノメスタイル」
随時更新中!

東雲キャナルコート地区の専門情報サイトを開設しました。地区内のお店ガイドや施設情報のほか、フリーマーケットなど地区内で開催されるイベントの告知や当日の様子などもご紹介しています。



フリーマーケットの賑わい

UR シノメスタイル で **検索** してください。
<http://www.ur-net.go.jp/machi/shinonome/>



Cover Photo

居留地十五番館 (国重要文化財)
 (兵庫県神戸市中央区)
 1881年頃に建築され、一時アメリカ領事館にもなった貴重な商館。大震災で全壊したが再建され、現在はカフェ・レストランとなっている。
 (株)ノザワ所有

編集後記

今号のテーマは「安全・安心のまちづくり」です。日本を震撼させたあの阪神・淡路大震災から15年が経ちました。当時、地元神戸新聞で編集委員をされていた上羽慶市さんをお招きして、改めてあの日を振り返り、そこから得られた教訓とは何だったのか、安全・安心のまちとはどういうものなのかについて、思いを語っていただきました。

UR都市機構においても、阪神・淡路大震災で得たノウハウは、その後の福岡県西方沖地震や新潟県中越沖地震の被災地支援で活かされています。また、災害に強いまちを作るため、密集市街地の改善や防災公園の整備などにも取り組んでいます。それらについても誌面でご紹介していますので、ご覧いただければ幸いです。

新しい一年もUR都市機構が変わらぬご理解とご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

季刊「ユアールプレス・冬号」
 Vol.22 (2010年1月)
 発行 独立行政法人都市再生機構
 〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1
 横浜アイランドタワー
 Tel. 045-650-0881
 Fax. 045-650-0889
 編集・制作 (株)日本経済社
 印刷 (株)アイワード